

# みなと一ま

(本調子)

1. 崎山<sup>さきやま</sup>ぬ泊<sup>とうまい</sup>に新村<sup>あらむら</sup>ぬ泊<sup>とうまい</sup>  
イラヨースーリ  
マタカイショリヨースーリ  
マタンダショリヨースーリ

崎山村の港に  
新しく開拓した村の港に

2. みじゅ<sup>いず</sup>ぬ魚<sup>ち</sup>ぬ付<sup>いず</sup>ちゃん<sup>ち</sup>どろ

みじゅんが集まってきた  
ばだらが集まってきた

ばだ<sup>いず</sup>ら魚<sup>ち</sup>ぬ付<sup>いず</sup>ちゃん<sup>ち</sup>どろ( )

3. 筑<sup>つく</sup>補<sup>ぶ</sup>佐<sup>ざ</sup>ぬす<sup>な</sup>だ<sup>だ</sup>ぬ

筑補佐に告げたら  
佐事補佐に告げたら

佐<sup>さ</sup>事<sup>じ</sup>補<sup>ぶ</sup>佐<sup>ざ</sup>ぬ<sup>た</sup>く<sup>ま</sup>ぬ( )

4. う<sup>ま</sup>る<sup>ま</sup>ず<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>ん<sup>ま</sup>ぬ<sup>ま</sup>真<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>だ<sup>ま</sup>苧<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>

若<sup>ば</sup>夏<sup>なつ</sup>ぬ<sup>しら</sup>白<sup>しら</sup>か<sup>しら</sup>い<sup>しら</sup>苧<sup>しら</sup>し( )

5. 家<sup>や</sup>ぬ<sup>や</sup>妻<sup>うづい</sup>ん<sup>うづい</sup>や<sup>う</sup>う<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>ょう<sup>し</sup>り<sup>り</sup>

女<sup>み</sup>童<sup>や</sup>ん<sup>ら</sup>や<sup>ら</sup>つ<sup>ら</sup>い<sup>ら</sup>な<sup>ら</sup>し<sup>ら</sup>ょう<sup>ら</sup>り<sup>ら</sup>( )

6. 大<sup>う</sup>目<sup>ふ</sup>網<sup>み</sup>ば<sup>あ</sup>く<sup>ん</sup>ぬ<sup>ん</sup>み<sup>ん</sup>ょう<sup>ん</sup>り<sup>ん</sup>

や<sup>あ</sup>す<sup>ん</sup>む<sup>ん</sup>網<sup>あ</sup>ば<sup>ん</sup>仕<sup>あ</sup>立<sup>ん</sup>て<sup>ん</sup>よ<sup>ん</sup>う<sup>ん</sup>り<sup>ん</sup>( )

目の大きい網を作って  
目の細かい網を仕立てて

7. 大<sup>う</sup>目<sup>ふ</sup>網<sup>み</sup>や<sup>あ</sup>腕<sup>ん</sup>に<sup>ん</sup>掛<sup>ん</sup>け<sup>ん</sup>

や<sup>あ</sup>す<sup>ん</sup>い<sup>ん</sup>み<sup>あ</sup>網<sup>ん</sup>や<sup>あ</sup>か<sup>ん</sup>や<sup>ん</sup>に<sup>ん</sup>か<sup>ん</sup>け<sup>ん</sup>( )

8. み<sup>い</sup>じ<sup>ず</sup>ゅ<sup>ず</sup>ぬ<sup>ず</sup>魚<sup>ま</sup>で<sup>ま</sup>巻<sup>ま</sup>く<sup>ま</sup>だ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>

ば<sup>い</sup>だ<sup>ず</sup>ら<sup>ず</sup>魚<sup>ま</sup>で<sup>ま</sup>巻<sup>ま</sup>く<sup>ま</sup>だ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>( )

みじゅんを網にかける  
ばだらを網にかける

9. 女<sup>み</sup>童<sup>や</sup>ぬ<sup>ら</sup>巻<sup>ら</sup>か<sup>ら</sup>れる<sup>ら</sup>

か<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>や<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ぬ<sup>ま</sup>巻<sup>ま</sup>か<sup>ま</sup>れる<sup>ま</sup>( )

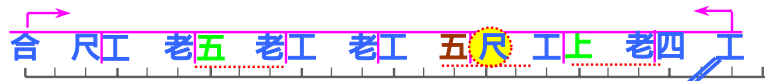
村の娘が網にかけられ  
かわいい娘が網にかけられ

## <解説>

「網で魚を巻く」は、役人の権力で村の娘を集め、慰安に利用することの例え。  
新村節・湊節ともいう。

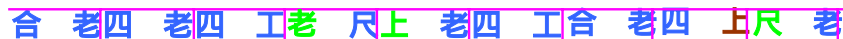
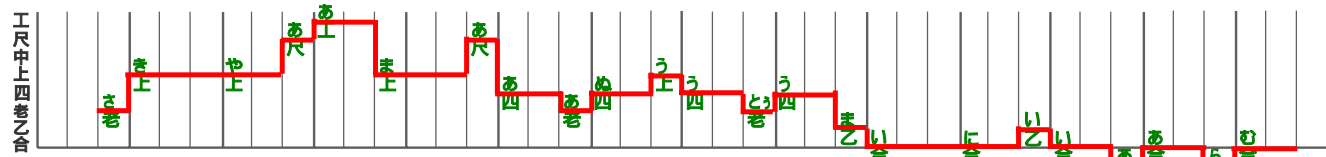
<八重山>

みなと一ま (本調子) 尺 = 尺# 歌: 寸合老四上尺工五

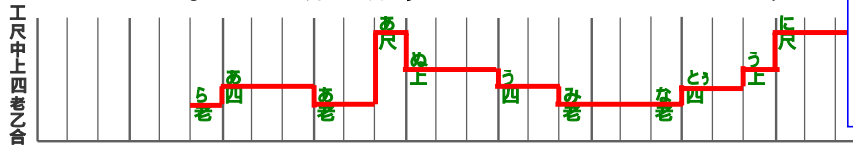


1番~5番

合 老上 老尺 老工 老上 尺四 老上 老四 老四 乙合 尺乙 尺合 上工 尺合 上  
 さき や あ あ ま あ あ う と う ま い に い い あ あ ら む  
 みじゆ め ぶ う う ま い あ ぬ う ち う ち ゃ ん ど う ば だ ら だ  
 うる ず い い ざ ん ん ん ぬ う う す ま は だ ぶ し い い ば あ が な  
 や あ め う う と う ず い ん ん や あ あ う う ま し ょ り い い み い や ら



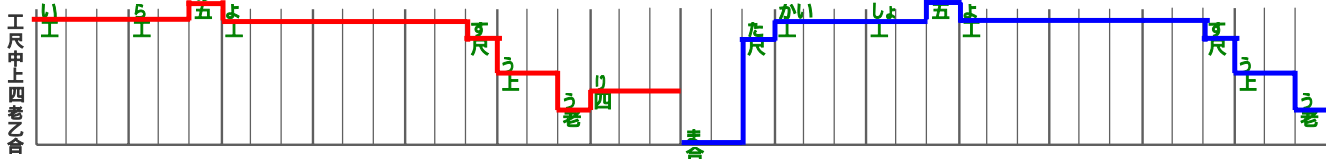
合 老四 老四 工老 尺上 老四 工合 老四 上尺 老  
 ら あ あ ぬ う み な と う に  
 い い ず あ ぬ う ち ち ゃ ん ど う  
 ざ つ う ぬ う た し ら く ま あ ぬ  
 び い ん ん や あ つ い かい ぶ う し じ ょ あり



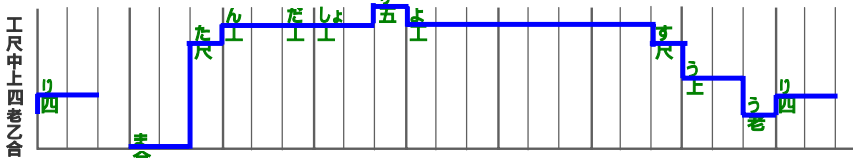
1. 崎山ぬ泊に新村ぬ泊に  
イラヨスーリ マカイショリヨスーリ  
マタンダショリヨスーリ
2. みじゆぬ魚め付ちゃんど う ばだら魚め付ちゃんど う ( )
3. 筑補佐ぬすなだぬ 佐事補佐ぬたぐまぬ ( )
4. うるずいぬぬ真はだ芋し 若夏ぬ白かい芋し ( )
5. 家ぬ妻んやうまじょうり 女童んやついなじょうり ( )

1番~9番共通はやし

工 老工 五工 老工 五尺 工上 老四 工合 尺工 老五 老工 老工 五尺 工上 老  
 い ら あ よ す う う り ま た かい し ょ り よ す う う

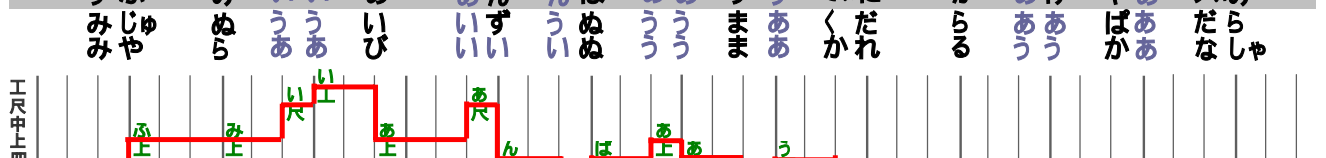


四 工合 尺工 老五 老工 老工 五尺 工上 老四 工  
 り ま た ん だ し ょ り よ す う う り

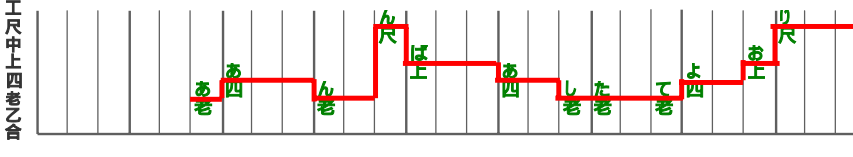


6番~9番

合 老上 老尺 老工 老上 尺四 老上 老四 老四 乙合 尺乙 尺合 上工 尺合 上  
 う ぶ み い あ あ ん ば あ あ く う ぬ み り い い や あ す い み  
 う ぶ み い あ あ ん ば あ あ く う で い に か あ け や あ す い み  
 みじゆ め う あ い び い ず う ぬ う う ま あ く だ れ ら あ あ ば あ だ ら  
 み や ら あ い び い い い ぬ う う ま あ か れ る う う か あ な し ゃ



合 老四 老四 工老 尺上 老四 工合 老四 上尺 老  
 あ あ ん ん ば あ し た て よ お り  
 あ あ ん ん や あ あ か や に か あ け  
 い い ず あ う ぬ う つ ま ま く だ れ あ ら  
 ま あ ぬ う つ ま ま か れ える



- 共通はやしへ
6. 大目網ばぬみょうり やすいみ網ば仕立てようり ( )
  7. 大目網や腕に掛け やすいみ網やかやにかけ ( )
  8. みじゆぬ魚で巻くたら ばだら魚で巻くたら ( )
  9. 女童ぬ巻かれる かなしやまぬ巻かれる ( )

尺 ...少しスライドさせて余韻に変化をつけます。